

★ 夏の思い出 ◆

異常気象がもたらした連日のうだるような暑さ(熱さ)。猛暑にさらされたこの夏。「夏の思い出」と題して皆さんに一言お願いしました。

私の夏休み

10年前に母が亡くなり、横浜で一人暮らしをする父を、体調不良をきっかけに私の住む三郷へ呼び寄せることになりました。押入れの中から、使わなくなった家電や釣り道具など、引き出しの中からは、何年も前の書類がたくさん出てきました。

処分に関わったのは、婚礼タンスでした。市の回収業者に依頼すると、処分費の他に運送費や人件費がかかり、想像以上にお金がかかります。2つに分解してもドアを外さないと搬出できません。自治体によっても回収してもらえるものできないものもあり、調べるのも一苦労でした。家財道具の処分にはこんなにも手間とお金がかかることを知り、常日頃から断捨離をしておくこと、物を買う時は捨てる時のことを考えることが大切だと実感しました。

2カ月程で片付けも終わり、無事に三郷へ引っ越して来ることができました。こうして暑い私の夏休みは終わりましたが、次は呼吸器疾患もあるので、医療機関の変更、薬局とのやりとり等が続くのでした。

* 写真は引越し前の家のベランダのビフォーアフターです。

<アカシア訪問看護ステーション 宮本 ひろみ>



防災体験ツアー

ラポルタみさと中央では8月14日(月)お出かけ企画として職員6名利用者9名で『千葉県西部防災センター』の体験ツアーに行ってきました。

ツアーでは災害や防災に関する展示物や防災映像の視聴、地震・119番通報・消火器を使った消火・煙避難といった様々な体験を行いました。体験が終わった後の感想では「消火器を使ったのは初めてでいい体験ができた」「煙体験が思ったより長くて中腰での移動が大変だった。」「消火体験で最初に大きな声で火事知らせるのが向いていると分かった。」「東日本大震災で千葉でも大きな被害があったのを知ってビックリした。」「公衆電話で119番した方が繋がりがやすく、場所も伝わりやすいと初めて知った。」とそれぞれが防災に対する理解を深めています。

皆さん「行けてよかった。」「また行きたい。」と、とても楽しめた様子で、ラポルタみさと中央の夏の思い出になりました。

<就労移行支援事業所ラ・ポルタみさと中央 渡邊 芽衣>



「地震だ！ 火事だ！」体験中

3.11津波の高さに驚く

～ 毎年恒例プールへ go!!! ～

夏休み最後の土曜日に、千葉県にある「蓮沼ウォーターガーデン」に行ってきました。

他のプール施設にはあまりない水上アスレチックがあります。ライフジャケットを着て娘と息子も挑戦！！開始早々・・・ドボン(笑) たくさんの監視員さんがプールの中でスタンバイしてくれて落ちる度に子供たちをアスレチックの上に戻してくれるのですが、少し進んではまた・・・ドボン(笑)落ちないように頑張ってアスレチックに掴まっているけど静かに・・・ポチャン(笑)

見ている親はその姿が面白くてかわいくて笑わずにはいられませんでした(笑) 段々と上手になり落ちる回数も減ってきて「楽しかったあ^^」とキラキラの笑顔でした。



朝から夕方まで丸一日色々なプールを楽しむことができました。親は体が痛いですが(;▽;また、来年の夏も子供たちと全力で楽しみたいです(^^♪

<就労移行支援事業所ラ・ポルタ 久留生 静季>

4年ぶりの3泊4日旅行

今年も去年と同じように福井と能登へ行きました。3泊4日は4年ぶり。スタートはいつも通りの夜行バスで金沢駅へ向かいました。到着後レンタカーを借りて福井県へ行きました。最初は御誕生寺へ行きました。御誕生寺は人馴れした猫が集まっているスポットです。この暑さであまり猫がいませんでしたがモフモフした可愛いのもいたので、それだけでも十分癒やされました。

次は能登へ。越前海岸を見ながら東尋坊に寄り、宿泊先へ向かいました。今ハマっている YOASOBI をかけながら海辺のドライブを楽しみつつ、宿泊先近くのレンタルショップで DVD(ホラー・コメディ・クレヨンしんちゃん等)を10本借り、宿泊先に到着。泊まった場所はいつものハートランドヒルズですが、今回は去年と違う子供向けの別荘にしました。

2日目は台風の影響で大雨警報もあり、ほとんど DVD 鑑賞(映画クレヨンしんちゃん、夕方は予言・感染・しんちゃんホラー作品)でした。夕方に止むとの予報もあり途中で食材と花火を買いにスーパーとホームセンターへ行きました。夕方に浜辺で花火を楽しみ終わった後は別荘に戻って夕飯にしました。夕飯後は「学校の怪談シリーズ」を見ました。岸田今日子さんがろくろ首を演じておりビックリした表情がとても大ウケでした。

3日目は午前中にホラー作品、百奇夜噺の「化け猫の恩返し」を見て切なくなりました。怖い作品なのになぜか悲しいストーリーでした。午後は奥能登でドライブをし、色んな海景色を見ました。長い宿泊でしたがあつという間であり、とても最高の夏旅行を楽しめました。

<小規模多機能型居宅介護えがお 飯塚 浩樹>



シャコと祖父

私の故郷は、名古屋セントレア空港がある常滑市(とこなめし)大野町。そこは、伊勢湾に面した海沿いの町で、「日本一古い海水浴場」。夏は名古屋や近在から、海水浴客が電車や車で押し寄せ、町はにぎわっていた。

近所の鮮魚店は、近海で取れたピチピチの魚(白身)が中心で、「しゃこ」も売っていた。そして「海ほおづき」も売っていた。

小学生であった私の昼寝のあとは、おやつに「茹(ユ)でシャコ」がよく登場した。今では寿司屋でしかみかけない「シャコ」である。このシャコは殻が硬く生の状態ではむけない。ゆでも素手でむくのは難しく、ハサミなどが必要。身はほろほろとして柔らかく、扱いが難しいが、非常に濃厚な甲殻類の旨みがある。また、卵巣が入っているシャコはとくに旨みが強く、私は大好きである。



このシャコを剥してくれるのは決まって祖父であった。巧みに、はさみを使い柔らかい身を崩さないように取り出して、食べさせてくれた。おやつはもちろん、夕食のお膳にも登場。甘辛く煮たり、マヨネーズで食べたり……。それは美味しかった！ 忘れられない懐かしい味であり、夏の日思い出である。

<居宅ふれあい 岡田 育代>

2023 平和のつどい

漫画「はだしのゲン」を通して平和の尊さを学ぶ



9月2日(土)に第11回平和のつどいを開催しました。今年は講師の神田香織さんを招き、第1部はつつみ会館で神田香織さんによる「はだしのゲン」の講演会、第2部ではアカシア会の各事業所の職員が集まりサークル対話を行いました。

今回私は1部の準備を任されたのですが、「講演」というものを知らず、何をどう準備すればいいのかわかりませんでした。他事業所の詳しい方に話を聞いたり、必要な道具をお借りして何とか形にすることができました。講師との連絡調整や当日の会場作りなど私にとって初めてのことばかりでしたが、普段交流の少ない他事業所の方々とも協力し合いながら楽しく取り組むことができました。当日は、友の会からも多くの方々に集まっていただきました。神田香織さんのパワフルな話し方に皆さん引き込まれており、戦争を知らない世代でも想い、感じるものがあつたのではないかと思います。

計画通りに進まない事もありましたが多く方の知恵や経験で乗り切ることができました。一人の力では限界があり、支え合い、協力できる関係が大切だとあらためて感じました。

当日会場に来られた方だけでなく、準備から片付けと多くの方にご協力いただきありがとうございました。

<就労移行支援事業所 ラ・ポルタみさと中央 阿部 悠介>

『はだしのゲン』は、中沢啓治による、漫画作品。中沢自身の原爆による被爆体験を基にした自伝的な内容である。物語は、広島県広島市に住む国民学校2年生の主人公・中岡元（なかおかげん）が、当時日本と交戦していたアメリカ軍により1945年8月6日に投下された原爆で、父・大吉、姉・英子、弟・進次の3人を亡くしながらも、たくましく生きる姿を描いた作品である。世界各国で読まれた名作だが、今年広島市の平和教材から外され物議をかもした。

ちよつと 一休み

N宅から帰ってきたスタッフが震えながら「家で話し合いをしていたんです。黒い物体が物陰から動いたと思ったら傍にいた家族がティッシュをもって素早くわしづかみして何事もなかったかのように捨てたのよ。それも二匹も・・・」と。黒くて素早く動き回る虫。ゴキブリでした。N宅では、日常の光景の様です。

ところで「アロマティカス」ってご存じですか？ 相談支援センターでハッカやミントの香りを漂わせています。

ゴキブリを寄せ付けない効果があるとも言われています。皆さんの職場や自宅はいかがですか？



< time ~私の楽しみ~ >



自然に^{いだ}抱かれて

みなさん、はじめまして。本年2月に『グループホームこかげ』に入職となりました大泉卓也と申します。入職して5カ月、あっという間でした。みなさんのおかげで楽しく仕事をさせていただいています。

私のたのしみは、『自然の中で過ごす』ことです。星を眺めたり、海で釣りをしたり、山でキャンプをしたりとアウトドアが大好きです。ですので、休日はだいたい朝から出かけていることが多く、40歳手前になっても『落ち着きがないね』と言われてしまうことが多々あります。

平日はなかなか自然に触れる機会が少なく、もやもやしてしまうことがあります。そんな時は、近所のグラウンドで天体観測をしています。流れ星がたくさんみれると幸せな気分になれます。一晩中、星を眺めていることもあるくらい私にとっては大事な時間です。

まとまった休みがとれたら、神津島で月虹(月光がつくる虹)をみてみたいと思っています。

自然は四季折々、毎日違った表情をみせてくれます。例えば夕日一つとっても、今日と同じ夕日は二度と見られません。そんな一期一会の出会いを大切に、ゆっくり時間が流れるような生き方に憧れています。

私はソーシャルワーカーなのですが、自然と向き合うように一期一会の出会いと丁寧に向き合っていきたいと思っています。

<障がい者グループホーム こかげ 大泉 卓也>



千葉県の館山にある根本海岸。穴場の海岸で人が少なく、キャンプを張ってもいいのでマイペースで過ごすことができます。周囲には民家もなく、夕日や星空がとてきれいにみられます。



有明海からカーフェリーで徳島港に行き、四国から中国地方を巡り日本半周の旅をしました。その時、立ち寄った広島で撮影した原爆ドームです。

【編集あれや これや】

皆さんの夏はいかがだったでしょうか。今回は「夏の思い出」と題して皆さんから原稿を頂きました。今年や子供の頃の夏の思い出などほっこりしました。一方では楽しいはずの海や川での事故、車に置き去りにされてしまった幼子など心が痛みます。ジワリジワリと拡大しているコロナ。油断大敵 (な)